



▲五七桐文軒丸瓦
(16世紀・姫路城出土)

高浜市やきものの里かわら美術館企画展

日本瓦の基礎知識

— 中世・近世編 —

現在、私たちが普通に眼にする瓦は、一般に「^{きんがらふまき}棧瓦葺」と呼ばれ、江戸時代に創案されたものです。中世にやや停滞した瓦の利用は、安土桃山時代に再び盛んになり、江戸時代には棧瓦が庶民にも広がって、ここ高浜でも多くの瓦が生産されるようになりました。

今回の展示では、春の古代編にひきつづき、かわら美術館の収蔵品の中から、鎌倉時代から江戸時代までの「中世・近世」の瓦を取り上げます。これらの瓦を考古学・建築史的な見地から眺め、それがどのように作られ、使われていたのかという「知っておくと、よりよく瓦がわかる」基礎知識をご紹介します。

- 開催期間** 11月7日(土)～12月20日(日)
観覧時間 午前9時～午後5時 (観覧券の販売は午後4時30分まで)
観覧料 高校生以上200円(160円)、中学生以下無料
 ※ () 内は高浜市内在住者および20人以上の団体料金。
休館日 月曜日 (ただし11月23日(祝)は開館)、11月24日(火)

関連行事

- <ギャラリートーク> ※当日の観覧券が必要です。**
と き 11月28日(土)、12月13日(日)ともに午後2時～
<フィールド・ワーク「瓦屋根探索」>
 学芸員とともに美術館周辺の瓦屋根を見学します。
と き 11月14日(土) 午後2時～ 美術館玄関前集合 (雨天中止)
参加費 無料
募集人数 20人
募集方法 11月3日(火) 午前9時～電話にて先着順受付



▲獅子文留蓋瓦
(19世紀・刈谷市松雲院所用)

問合せ先 高浜市やきものの里かわら美術館 ☎52-3366

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

(ポルトガル語のページを読んで下さい!)

広報

たかはま

編集/発行 高浜市役所市民生活グループ
〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
http://www.city.takahama.lg.jp/
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。



広報たかはまは大豆インキ
を使用しています。



表紙 受け継がれる高浜の文化

疾走する馬に振り落とされても、振り落とされてもあきらめることなく飛びつき、人馬一体となり駆け回る勇壮な「おまん」と。厳しい練習にも負けず、代々受け継がれた古式ゆかしい作法にのっとり白羽の矢を放つ「射放弓」。

ともに高浜市の文化財に指定され、保存会などの協力により後世へと受け継がれています。